



QRコードから、ぜひ印刷労連のHPもご覧ください。

連合 印刷労連 労働相談ダイヤル
 ☎ 03-5442-0191

2023年度ジェンダー平等・多様性推進会議開催!

2024年6月15日(土)東京・友愛会館において、2023年度ジェンダー平等・多様性推進会議がオンライン併用で開催され、全国から41名(会場28名、オンライン13名)が参加しました。連合「6月男女平等月間」に合わせた取り組みの一つとして開催し、連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズI、印刷労連における「ジェンダー平等推進計画」の報告と進捗状況を確認した後、毎年恒例で実施しているグループディスカッションを行いました。

今年度のディスカッションのテーマは、「アクションを考える!～課題抽出から次のステップへ!ジェンダー平等の実現に向けて～」と題し、それぞれのグループで具体的な企画(イベントや研修会)を考えていただきました。各グループで、企画内容、目的、対象者、予算など具体的に内容を詰めて発表していただき、どのグループもアイデア満載で発表会は大変盛り上がりしました。またお互いの感想なども共有し、大変有意義な会議となりました。次のステップへ!ジェンダー平等の実現に向けて、本部・地方協議会・構成組織一体となってさらに取り組んでまいります。

ちょこっと4コマ

～パパのある日の休日～



最終ページもCHECK!!



2023年度ジェンダー平等・多様

グループディスカッションの様子



各グループのディスカッション内容 (テーマ:アクションを考える!)

Aグループ	岩田 大伸(共同)、児島 美樹(大和)、結野 正也(凸版)、勝又 紀智(図書)、大森 真吾(凸版)	Bグループ	深山 隆裕(高桑)、宮崎 孝子(大和)、本間 友介(名鉄局)、大上 隆史(凸版)
タイトル	対面式勉強会および意見交換会	タイトル	トランスジェンダー学習会
イベント・学習会等の目的	少ない人数でも声をあげていく 世代間の距離を埋めていく	イベント・学習会等の目的	ジェンダー平等を学習する (トランスジェンダーの方の講演)
開催時期・日程等	春闘前の時期	開催時期・日程等	特に指定なし
対象者	幅広く参加者を募る	対象者	特に制限なし(リアル・オンライン併用してできるだけ多く)
参加人数	20~30人	参加人数	会場のキャパ次第(オンライン併用)
予算	100万円 外部会場を借りて複数回開催。 意見交換会(懇親会)も開催。	予算	200万円
開催形態・実施内容等	会場で対面式の勉強会および意見交換会。 6名程度のグループを組んで複数回開催。 共働き、介護、一人暮らしなど、それぞれの意見を聞き、お互いの理解を深める。	開催形態・実施内容等	講演会および後段の意見交換会。リアル参加者は意見交換会にて講師の想いをさらに聞ける。講師の案として、トランスジェンダー男性の細川藤貴さん ※内面が日本一カッコいい男性を決める大会「ミスターオブザイヤー」グランプリ ※この大会でトランスジェンダーが出演するのは初めて
Cグループ	小松原 千鶴(凸版)、宮岸 達也(ヨシダ)、大登 久子(共同)、藤井 洋平(凸版)	Dグループ	前川 昌美(野崎)、龍口 隆二(凸版)、吉野 麻子(フォームズ)、辻田 恵美(凸版)、杉山 拓視(ココロ)
タイトル	ジェンダーカードゲーム体験会	タイトル	コーヒーセミナー・意見交換会
イベント・学習会等の目的	楽しみながらジェンダー平等を学ぶ	イベント・学習会等の目的	イベントを通じて組合活動に興味を持ってもらう
開催時期・日程等	AMまたはPM(その日に何回かに分けて開催)	開催時期・日程等	2月(春闘前)、バレンタイン前、国際女性デー前
対象者	家族、なるべく子どもも参加してほしい	対象者	老若男女問わず(強いて言えば若年層、あえて女性の方にフォーカスしない)
参加人数	50組(オンライン)/20組(集合型)	参加人数	35~50人程度
予算	参加費として、 大人:500円、小人:無料、一家族:500円	予算	4,000円/人、 会場代込で約200,000円(参加費:500円/人)
開催形態・実施内容等	【オンライン】 ・カードゲームをしながら意見交換 ※ジェンダーもやもや発見カード:画像参照 ・クイズ大会(家族対抗) 【集合型】 ・カードゲーム⇒ジェンダー講話(逆の順もあり)	開催形態・実施内容等	リアル開催でコーヒーセミナー(講師あり)。お土産交換でチョコを持ち寄る。ラテアートなどを講師から習う。コーヒーにあうチョココレートを参加者が持ち寄る。コーヒーを飲みながら、意見交換をする。バレンタイン前の出会いの場になってもいいかも!

性推進会議の様子とプレゼン内容

各グループによるプレゼンの様子



～課題抽出から次のステップへ!ジェンダー平等の実現に向けて～

Eグループ	阪川 佳織(ココヨ)、藤原 タエ(凸版)、種子田 浩一(リーブル)、 太田 吉哉(凸版)、山田 夏子(ヨシダ)
タイトル	妊婦体験・育休取得促進勉強会
イベント・ 学習会等の目的	男性・女性関わらず妊婦のサポートや産後の育休 取得促進について考える
開催時期・日程等	夏場(7月～8月の暑い時期)※暑い時期に大変そうなのをよく目にするため
対象者	男女年齢問わず幅広く対象とする
参加人数	100名
予算	妊婦体験セット(重さ2.5kg):9,900円×20セット 198,000円 育休取得経験者の講師費用:700,000円
開催形態・ 実施内容等	リアル開催のみ。妊婦体験を通じて妊婦の大 変さを学ぶ。また、育休取得経験のある男性 講師に講演をお願いし、育休取得促進につ いて考える(講師はつるのたけしにお願いした い)

Fグループ	川尻 聡(凸版)、北村 嘉英(天理)、南雲 愛香(リーブル)、 山口 由美子(ココヨ)、河嶋 伶奈(野嶋)
タイトル	ジェンダーギャップ寸劇の実施
イベント・ 学習会等の目的	女性参加だけを目的とするのではなく、男性・女 性ともお互いを知る
開催時期・日程等	芸術の秋(10月～12月)
対象者	オールジェンダー、オールエイジ
参加人数	のべ500人(100人×5か所)北海道・関東・石川・大阪・福岡
予算	500万円(1か所30万円×5、交通費概算10名分 6万円× 10人×5か所 練習時などの諸経費50万)※衣装代含まず
開催形態・ 実施内容等	劇団PIMW「ジェンダーGAP寸劇」北は北海道、南は九州までの全 国講演。産別組合役員が演者になり互いのすれ違いやGAPを表現。⇒ 女性が男性の役、男性が女性の役、若者が高齢者の役など。また、オ ーディエンス参加型にし、自分事として考えさせる。生理痛や更年期障害 は経験しないとわからない。実際に経験すること、体験談などを共有。 男女だけでなく、若者・高齢者の健康課題・悩みにもフォーカスしたい。

Gグループ	岩館 美奈子(野嶋)、鈴木 啓右(フォームズ)、松田 優(図書)、 山下 萌子(凸版)、渡辺 大樹(大平)、山口 武宣(ダイオーミウラ)
タイトル	男女平等防災セミナー
イベント・ 学習会等の目的	男女平等の視点に立った防災セミナー
開催時期・日程等	12月または1月(能登半島地震から1年のタイミング)
対象者	年齢や性別を限定せず、幅広く募集する
参加人数	30人
予算	50万円
開催形態・ 実施内容等	講師による最新の防災についての講義およびワールドカフェ形式での意見交換。能登半島地震 によって、女性や子供の防災について見直しが図られている。震災から1年が経過した2025 年1月を目標に男女平等の視点から防災セミナーを開催する。冒頭、1時間程度で講師による 最新の防災についての講義をしていただき、その講義内容に基づいてグループに分かれ意見交 換を行う(ワールドカフェ形式)。相手の意見を否定せず、建設的に会議を行う事をルールとし て進行させる。話しやすい雰囲気を作るため、お菓子や飲み物を配布しながら開催する。

事務局(ジェンダー平等推進委員会メンバー)



～君は何色を選ぶかな～



印刷労連「ジェンダー平等推進計画」進捗状況について

「2023年度ジェンダー平等・多様性推進会議」でも共有された。印刷労連における「ジェンダー平等推進計画」の進捗状況をご報告します。

(1) 専門委員会の設置

2023年度専門委員会としてジェンダー平等推進委員会を設置した。現在、委員会を中心に具体的な取り組みを進めている。

(2) 運動方針への「男女平等参画・ジェンダー平等の推進」を明記

2023年7月～8月末にかけて実施した。連合「2023女性の労働組合への参画に関する調査」の結果より、運動方針への「男女平等参画・ジェンダー平等の推進」を明記している組織は回答組織数21組織中、7組織に留まった。

(3) 連合「参画調査」への対応

2023年7月12日～8月末まで実施した。連合「2023女性の労働組合への参画に関する調査」の回答数は30組織中21組織となった。

(4) 広報・アピール活動の展開

「NETWORK」およびホームページでは随時情報を発信してきた。またジェンダー平等推進委員会独自のニュースを発行し、周知してきた。

(5) 連合「女性リーダー養成講座」等への積極参加

連合主催の各種セミナーについては、印刷労連NEOを通じて情報を発信し、積極的参加をお願いした。連合「男女平等講座」については、今年度は東京開催(会場のみ)ということもあり、印刷労連からの参加者はなしとなった。オンラインを併用している各種セミナーやその他の研修会等については、適宜参加してきた。

(6) 推進会議の開催

6月15日(土)開催。連合6月「男女平等月間」に合わせて推進会議を開催。女性役員のみならず、各地方協議会および構成組織のリーダーにも参加いただき、男女平等・ジェンダー平等の推進について議論した。

(7) 6月「男女平等月間」への取り組みの徹底

ジェンダー平等・多様性推進会議を経て、各地方協議会および構成組織へ周知し、積極的にアピールしてきた。SDGs【5.ジェンダー平等を実現しよう】(左図)を掲げたアピール行動を実施。

(8) 加盟組合リーダーの積極的参画

印刷労連 連合「3.8国際女性デー」促進全国集会(今年度初の取り組み)およびジェンダー平等推進会議、連合の各種集会に女性役員だけでなくリーダーの積極参画を促し、多くのリーダーに参画いただいた。

<編集後記>

今年も暑い暑い夏がやってきました…皆さま夏のバケーションは楽しみつつ、熱中症にはくれぐれも気をつけてお過ごしください!今回はジェンダー平等・多様性推進会議特集ということで、ジェンダー平等委員会メンバーの熱い想いを感じられる内容となっております。熱中症は怖いですが、何かに熱中するのは良い事です!大会など控えている労組も多いと思います。暑い夏にしましょう!(杉山)